

ITU-R RA-12（2012 年無線通信総会）の結果概要

1. 概要

日時： 平成 24 年 1 月 16 日（月）～20 日（金）

場所： スイス（ジュネーブ）

参加者： 102 か国から 500 名超が参加。日本からは、総務省、電気通信事業者など 28 名が参加

2. ITU-R SG 4 及び SG 7 から RA-12 に提出された ITU-R 決議案／勧告案

SG 4 について、5 件の ITU-R 決議案（以下）が承認された。

・ ITU-R 決議 17-3 改訂案

IMT（IMT-2000 と IMT-Advanced）と既存ネットワークの統合

IMT と既存ネットワークの統合に関する決議に関して、記述の明確化等を図る改訂を行う。

・ ITU-R 決議 47-1 改訂案

IMT-2000 の衛星無線送信技術の将来の提出

ITU-R により一度評価手順が完成されたら、新たな衛星無線インターフェースは ITU-R 勧告 M.1850 に入れられるべきであることなどを決議している。

決議中で参照している IMT-2000 の地上無線インターフェースの詳細仕様を定める ITU-R 勧告 M.1457 について、衛星コンポーネントの無線インターフェースの詳細仕様を定める ITU-R 勧告 M.1850 が作成されたこととともない、参照する勧告を、M.1457 から M.1850 に改めている。

・ ITU-R 決議 50-1 改訂案

IMT の継続的開発における無線通信セクターの役割

IMT の継続的開発における無線通信セクターの役割の決議に関して、無線通信セクターと BDT の連携が図られるべきということを追加する改訂を行う。

・ ITU-R 決議 56 改訂案

IMT の名称

IMT の名称に関する決議に関して、IMT-2000 の地上系・衛星系の定義の明確化等の改訂を行う。

・ ITU-R 決議 57 改訂案

IMT-Advanced の開発プロセスに関する原則

IMT-Advanced の開発プロセスに関する原則の決議に関して、語句の明確化等の改訂を行う。

SG 7 について、ITU-R 勧告 TF.460-6 改訂案は SG 7 に差し戻された。

・ ITU-R 勧告 TF.460-6 改訂案 標準周波数及び時間信号の発射

概要

Annex 1 で定められる協定世界時（UTC）は、あらゆる国際電気通信活動及び ITU のあらゆる公式文書における時間を指定されるために使用されるべきであること、UTC へのうるう秒の調整の適用は、適切な世界無線通信会議による承認後 5 年の 1 月 1 日に止めるべきであること、UTC 周波数は、標準周波数発射のための根本的な参照として使用されるべきであることなどを勧告している。

RA-12 における各国の意見・主張

アメリカ：	勧告改訂を支持。
イギリス：	勧告改訂を不支持。
カナダ：	勧告改訂を不支持。時期尚早。連続時系導入の必要性は認識。
中国：	勧告改訂を不支持。
フランス：	勧告改訂を支持。
メキシコ：	勧告改訂を支持。
ナイジェリア：	更なる情報提供希望。
日本：	勧告改訂を支持。
ロシア：	更なる情報提供希望。今回の勧告改訂は時期尚早。
イタリア：	勧告改訂を支持。
ドイツ：	勧告改訂を不支持。
UAE：	更なる情報提供希望。
アルメニア：	更なる情報提供希望。
トルコ：	勧告改訂を支持。

3. SG 4 及び SG 7 の議長・副議長

SG 4 議長について、任期満了につき Rawat 氏（カナダ）が退任、副議長の Hofer 氏（アメリカ）が就任した。

SG 4 副議長について、阿部宗男氏（三菱電機）など 4 名が退任、新たに河合宣行氏（KDDI）など 6 名が就任した（2 増）。

議長	Mr. Chris HOFER	（アメリカ）	新
----	-----------------	--------	---

副議長	Mr. Onimisi BAIYE	(ナイジェリア)	
副議長	M. Kouame BINI	(コートジボワール)	新
副議長	Sr. Fernando CARRILLO VALDERRABANO	(メキシコ)	新
副議長	Mr. Alireza DARVISHI	(イラン)	新
副議長	Mr. Xiaoyang GAO	(中国)	
副議長	Mr. Nobuyuki KAWAI	(KDDI)	新
副議長	Ms. Elisabeth NEASMITH	(カナダ)	新
副議長	Mr. Mikhail SIMONOV	(ロシア)	
副議長	Mr. Mohamed SOLIMAN	(エジプト)	新
副議長	M. Alexandre VALLET	(フランス)	

SG 7 議長について、Meens 氏が再任した。

SG 7 副議長について、1 名が退任、新たに 3 名が就任した (2 増)。

議長	M. Vincent MEENS	(フランス)	
副議長	Mr. Khamis AL-ARAIMI	(オマーン)	新
副議長	Mr. Hyun Soo CHUNG	(韓国)	
副議長	Mr. U.K. SRIVASTAVA	(インド)	新
副議長	Mr. Alexandre VASSILIEV	(ロシア)	新
副議長	Mr. John ZUZEK	(アメリカ)	

4. SG 4 及び SG 7 の構成

今回、ITU-R SG の構成は見直されなかった。

平成 24 年 1 月 23 日

国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA-12) の結果

平成 24 年 1 月 16 日(月)から 20 日(金)まで、スイス(ジュネーブ)において、国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA-12) が開催されました。

無線通信の方式や共用条件などの勧告の承認、次期研究会期の研究課題の承認、研究体制及び作業手続きの審議が行われ、第 4 世代移動通信システムの無線インターフェースの勧告などが採択されました。

1 日時等

日 時: 平成 24 年 1 月 16 日(月)から 20 日(金)

開催場所: スイス・ジュネーブ国際会議場

参加国: 102 か国の情報通信関係省庁、電気通信事業者、メーカーなど 506 名が参加。日本からは、総務省、電気通信事業者を始め 28 名が参加

2 主な結果

1. 研究委員会(SG)から提出された勧告案の承認

3 件の新規勧告、1 件の改訂勧告が承認されました。主な勧告は以下のとおりです。

(1) 第 4 世代移動通信システム (IMT-Advanced) の詳細無線インターフェースに関する新規勧告

1Gbps の高速通信を実現する第4世代移動通信システムの無線インターフェースを定める新規勧告において、携帯電話の方式を基本とした「LTE-Advanced」及び無線 LAN の方式を基本とした「WirelessMAN-Advanced」の 2 つの方式が採用されました。

(2) 「うるう秒」の調整の廃止に関する改訂勧告

「うるう秒」による調整を廃止する改訂勧告案については、賛成、反対、本件についてさらに情報が必要であるとの 3 つの異なる意見が表明され、審議の結果、改訂勧告案は科学業務を担当する SG7 に差し戻して検討を継続するとともに、1 月 23 日から開催される世界無線通信会議 (WRC) において、将来の WRC で検討することが提案される予定です。

2. SGから提出された決議案の承認

新規に 6 件の決議が承認されました。主な決議は以下のとおりです。

(1) コグニティブ無線システムの導入に向けた研究に関する新規決議

電波の利用ニーズの増大に伴う周波数のひっ迫に対応するため、電波の有効利用を可能とする技術であるコグニティブ無線システム^(※)に関して、その技術条件などについて今後、無線通信部門 (ITU-R) での研究を促進するための新規決議が承認されました。

※: コグニティブ無線システム: 端末や基地局などが周囲の電波状況をチェックし、その状況に応じて、周波数や通信方式を変えて通信を行う技術

- (2) 温室効果ガス削減のための無線通信デバイスの電力消費削減に関する新規決議

無線通信業務によって放出される温室効果ガスの削減に寄与するため、無線システム/アプリケーションの省エネルギー策の検討を求める新規決議が承認されました。

3. 次期研究会期における研究課題案の承認

次期研究会期(2012年～2015年)における各SGの191件の研究課題が承認されました。主な研究課題は以下のとおりです。

- (1) スーパーハイビジョンに関する研究課題

我が国が先行している技術である、ハイビジョン放送(現在のHDTV)を超える超高精細度画像(スーパーハイビジョン)について、ハイビジョン放送よりも高い臨場感の実現方法、さまざまなアプリケーションとの調和、映像の制作・伝送・表示の基礎となる映像信号形式などの研究課題が引き続き承認されました。

- (2) パワーグリッドマネジメントシステムに使用する無線/有線データ通信から既存無線通信への影響に関する研究課題

パワーグリッドマネジメントシステム(スマートグリッド)に使用する無線技術及び装置の特性、並びに当該システムから既存の無線通信に与える影響などの研究課題が引き続き承認されました。

4. SG議長・副議長の任命

我が国から推薦していた以下の3名全員が次期研究会期の議長及び副議長に任命されました。

- ・ SG5(地上業務) 議長 橋本 明(NTTドコモ)
- ・ SG4(衛星業務) 副議長 河合 宣行(KDDI)
- ・ SG6(放送業務) 副議長 西田 幸博(NHK)

3 今後の予定

総務省は、この結果を踏まえ、我が国の無線通信システムの発展、国際競争力強化に向けて努力するとともに、国際標準化活動が円滑に行われるよう、引き続きITUへ積極的に貢献します。

関連報道資料:

- ・ 国際電気通信連合(ITU)無線通信総会(RA-12)及び世界無線通信会議(WRC-12)の開催(平成24年1月13日)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin04_02000021.html

連絡先:

情報通信国際戦略局通信規格課
(担当:橋本課長補佐、稲見国際標準係長)
電話:03-5253-5771
FAX:03-5253-5764